

別紙

1 テーマ

参加者、特に鳥取県の将来を担う若年層(高校生、医学生等)に、コロナ禍の経験を踏まえて、「いのち」「健康」の重みについて、また、臓器移植により「いのちをつなぐ」ことの意味について、改めて考えていただく契機とする。

2 企画案

○大会タイトル(仮)

第25回臓器移植推進国民大会 in とっとり ～とっとりからアフターコロナのいのちを考える～

○プログラム案

項目	内容
開会・黙とう・主催者挨拶 感謝状贈呈式(約15分)	黙とう、主催者挨拶、臓器移植推進功労者及び臓器提供施設への大臣感謝状の贈呈は必須とする。
第1部「いのち」「健康」を考える	
高校生による企画 (約20分)	<u>県内高校生によるパフォーマンス</u> ⇒あらかじめ課題を提供し、「いのち」「健康」について考えたことを多様な手法(手話、書道等によるパフォーマンス)で発表、参加者にアピール。
著名人による講演 (約30分)	<u>著名人による「いのち」「健康」等をテーマとした講演</u> ⇒訴求力のある著名人の講演により、県民及び国民の参加を促進。
第2部「いのちをつなぐ」を考える	
臓器移植関係者による座談会 (約60分)	<u>関係者の体験をベースとした座談会</u> ⇒関係者の体験に根差した思いを引き出し、参加者に「いのちをつなぐ」ことの意味を訴える。 (メンバー) 臓器移植 Co、レシピエント、ドナー家族、医師 など
医学生による企画 (約20分)	<u>県内医学生によるパフォーマンス</u> ⇒あらかじめ課題を提供し、「いのちをつなぐこと」「患者や患者家族に向き合うこと」について考えたことを発表、参加者にアピール。
参加者ワークショップ (約20分)	<u>マッチングワークショップ</u> ⇒適合条件や優先順位を記したドナーとレシピエントの札を参加者に配布し、マッチングの難しさを模擬体験。
閉会	
その他	会場内のロビー展示などにより、移植医療に関する普及啓発及び情報の発信を行う。

※鳥取県において、上記プログラム案をベースに関係者との調整を継続中

※本事業は、当該業務の目的及びテーマを鑑み、上記の内容、あるいは相当する内容を含むこと。

※業務の実施については、主催者と十分な連絡調整を行うこと。

※開催時間は3時間程度とすること。